

# 小谷場中だより

教育目標〈自主 協働 創造〉 校 訓〈力の限り〉

川口市立小谷場中学校

〒333-0857

川口市大字小谷場1156番地

TEL 048(267)1055

FAX 048(267)1069

7月号 令和3年7月1日

## 準備開始

校長 野本 慶人

いよいよ今年も「暑い！」と言われる季節の到来です。先月5日の学校公開日は予想をはるかに超える保護者、小学生の数に驚かされ、改めて学校への関心の高さを感じた一日でした。

お忙しい中、お時間をつくっていただき感謝申し上げます。

学校総合体育大会が行われました。6月18日女子卓球団体戦を皮切りに、翌週には各部の熱い戦いを見ることができました。どの部も、昨年ではできなかった公式戦を味わうように選手は動き、輝いていました。保護者の観戦をご遠慮いただいたのは、感染拡大防止のためであり、大会を実施することを最優先させた決断でした。ご協力ありがとうございました。

さて、巷では「一年遅れのオリンピック開催」に向けて準備が進んでいるようです。さらっと「準備」と言ってしまいましたが、この世界中の人々が集まる大会実施に向けて何度も議論検討を繰り返していることでしょう。また、出場代表選手についても、さまざまなドラマがあるに違いありません。昨年限りで選手生活を終えた人や、逆に今年にずれ込んだために代表に選ばれた選手もいるでしょう。このようにちょっとしたことで、その後の選手生活や生き方にさえ影響が出てしまう厳しい世界が、オリンピック開催の裏には繰り広げられている現実があります。

いよいよ夏休みを迎えます。夏休みの過ごし方は学年によって違うのではないのでしょうか。1年生にとっては、夏休みの生活の中に部活動が入ってきます。2年生は、部活の中心となって新人戦までの大切な時間となることでしょう。そして、多くの3年生は、部活動を終え、体験入学や高校説明会等、進路選択に向けての準備の時期となります。少し気が早いですが、夏休みが終わると、すぐに運動会、新人戦、修学旅行、水上自然教室、合唱コンクール…と途切れることなく行事が続きます。準備して実施して振り返って、また次の準備して実施して…の繰り返しになります。

「備えあれば憂いなし」ということわざがあります。かつてサッカー日本代表、本田圭佑は言いました。「準備が全てだと僕は思っているんで、準備の段階で試合は始まっている。」また、「勝負を決めるのは準備。なかでも気持ちの準備以上のものはない」とも言っています。

さらに野球界ではイチローが「準備というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく、そのために考え得るすべてのことをやっておく。」と言っています。本田圭佑もイチローも一流選手だからこのようなことを言うのでしょうか。そうではないと思います。

昨年は、実施形態を変えたり、突然中止されたりしたこともありましたが、今年度の行事は、今のところ実施予定ですが、止む無く中止や縮小せざるを得ない可能性もあります。

行事の数々、小谷場中の選手たちも「準備」が始まります。いいえ、始まっています。もしかしたら、そのための準備が生かされないかもしれません。

しかし、準備をすることで、何が起こっても動じない強い心、努力を続ける強い精神力は、その後のあなたに生かされるのではないのでしょうか。確実に。